

平成 27 年 12 月 3 日

愛知県議会議長 様

子どもと保護者が安心できる少人数学級の実現を求める請願書

紹介議員

わいの恵子  
下奥 奈歩

【請願事項】

- 1 学級編制基準を緩和し、小中高校の全学年に正規の教員配置で少人数学級を早急に拡大実施すること。

【請願の趣旨】

子どもたちの健やかな成長とゆとりのある学校を願い、学校現場と家庭・地域では、大人たちが手をつなぎ、さまざまな試みと工夫がすすめられています。

愛知県は小学校 1, 2 年と中学校 1 年の 35 人学級が県独自に実施してきましたが、2012 年度から国の政策で小学校 1, 2 年生 35 人学級が実現しました。そのことによって財源を増やすことなく、県独自で少人数学級を小学校 3 年生以上、中学校 2 年生以上に拡大できる条件が整いました。

また、県内のいくつかの自治体では限られた自治体財源の下、県以上の水準の少人数学級が実施されています。全国では、知事会・校長会・PTA協議会など 20 を越える団体が少人数学級の推進に賛同し、少人数学級は今や国民的な声となっています。

子どもたちは、未来を担うかけがえのない宝です。今こそ、子どもたちに最善の環境を保障し、心がかよい、命を大切にする学校をつくる必要があります。そのためには、学習と生活にゆとりを生み出す「少人数学級」をすべての学年で実現することが大切だと考えます。今後、愛知県が必要な予算を充て正規の教員を配置し、すべての小中高校に少人数学級を早急に実施することを願い請願します。

愛知県議会事務局
27局議(請願)第5-13号
平成 27.12. 3 受付
請願(陳情)第 26 号
平成 27.12. 3 受理
文 教 委員会

請願団体 子どもと親が安心できる 30 人学級を求める会

住所 名古屋市中川区戸田 3-1211 山田清文気付

代表 折出 健 = (折出)